

ケアマネ初任者研修報告書・西部（運営委員会）

日 時： 平成 30 年 11 月 18 日（日曜日） 13：00～16：15

場 所： 穴吹農村環境改善センター 多目的ホール

参加者： 8 名

講 師： 黒田景子先生（ケアマネ協会運営委員）

サービス担当国会議について。準備・進め方について 2 グループに分かれて研修を行いました。

＜担当国会議の目的 | 全体の流れ | 事前準備について＞

＜担当国会議の開催・進行手順 | 議題検討 | 持ち越し課題と全体のまとめについて＞

各講義の後、気づいた事や意識して行いたい事などについて個人ワーク、グループワークを行いました。

担当国会議において会議進行をスムーズに行うために必要な準備・手順を確認し、不安な事や疑問に思っている事、キーパーソンの見極め方や他業種との連携など複数の人と意見を出し合い、情報を共有する事でケアマネジメントへの理解を深めました。

＜模擬担当国会議＞

事例について個人ワーク、グループワークを行いました。

担当国会議では専門分野の意見が聞ける貴重な機会です。出席者に事前にテーマを連絡しておき全員が発言できるように進行し、ご本人含め出席者全員がチーム意識を持てるようにすることが大切であることを学びました。

また事例の中で検査値、食事制限（塩分・水分）の話がありましたが、必要に応じて簡単な検査値の説明や具体的な数字目標を話していただけるよう各担当者に事前に伝えておくと、はっきりした共通認識が持てて良いかもしれません。

＜まとめ＞

多くの方が他業種連携の重要性を感じています。各専門職に内容に沿った問い合わせをするなどして信頼関係を確立し、各職種の役割を明確化しチームメンバーとして互いに認め合い専門性を活かせるように連携のリーダーシップが取れる能力を磨く大切さを学びました。

初任者研修も色々な業種の方が参加されます。他業種連携の一つとして、多くの方に参加していただければと思います。

